

部門名	とび・土工・コンクリート工事
案件名	令和3年災第807号外道路災害復旧工事
工期（始）	令和4年3月16日
工期（終）	令和4年9月9日
場所	美保関町
事業者名	株式会社増原産業建設
代表者名	代表取締役 増原 修一
技術者役職	主任技術者
技術者名	桑原 義明
工事概要	施工延長 L=32m 吹付工 A=118 m <sup>2</sup> ブロック積工 A=43 m <sup>2</sup> 舗装工 A=64 m <sup>2</sup>
表彰理由	本工事は、被災した道路法面を復旧する工事であったため、施工中において落石や崩壊が生じる危険性があったが、綿密な施工計画により事故無く竣工した。また、出来栄も良好であり、優良な工事がなされた。

本工事の表彰技術者である、株式会社増原産業建設の主任技術者（当時）桑原義明氏は受賞の感想を「この度は優良工事表彰を賜り誠に光栄に思います。私個人としては、とび・土工・コンクリート工事部門では二度目の受賞となり、発注者の皆様・地域の皆様・協力業者の皆様には感謝申し上げます。」と話す。

本工事で心掛けたことは「災害復旧現場なので高所への安全通路の確保と、施工中の第三者災害防止等、安全管理に留意しました。」と語る。また、苦労したことについても「施工場所が狭く車両が通行する度に作業を中止して重機を移動退避し再開するので、非常に時間的制約を受けたことです。」と振り返った

桑原氏は仕事における今後の目標は「引き続き施工品質の向上を目指すとともに、若手社員の育成にも努力していきたい。」やりがいについては「土木の現場は個々に違うため、現場担当者によって出来上がりが違ってくると思います。施工過程での工夫と完成後の達成感にやりがいを感じます。」と話す。



これから建設業界を目指す人へは「若い方がだんだんと減ってきていますが、都市づくりや災害復旧等で必要不可欠な業界です。とてもやりがいのある仕事ですので是非皆さん志してください。」とメッセージを送った。

最後に、桑原氏が勤務する株式会社増原産業建設について紹介してもらいました。

「株式会社増原産業建設は、創業63年で堅実経営を続けています。少数ながらも社員一丸となり土木・建築工事に取り組んでいます。」



株式会社増原産業建設  
(写真左) 代表取締役 増原氏  
(写真右) 主任技術者 桑原氏